

日南油津散策マップ

「油津」は、「吾平津」の変化した地名といわれています。津とは港のことです。歴史的な港町です。港を見下ろす高台には、かつて古墳が2基あり、「梅ヶ浜」奥では現在でも平安時代の土器が出土しています。また、港を守る拠点だったと考えられる通称「漆津の城跡」があり、当地方の最古の城跡といわれています。中世には助合貿易や倭寇の中継地であり、戦国時代には伊東氏と島津氏がこの地をめぐって83年間も戦ったことでも「油津」がいかに重要であったかを表しています。近代に入るとカツオ・ブリ、マグロといった海産物、杉造船材の「井甲」により大いに賑わいましたが、戦後の急激な変化につれていけず衰退の一途をたどりました。そのため、今でも史跡や明治・大正ロマンの雰囲気あふれる美しい町並が残っています。このパンフレットを片手に、ノスタルジックな油津の町を歩いてみませんか。



吾平津神社



マグロの水揚げ (江戸時代)



川俣本店



カツオ船 舘久船



油津街



昭和初期の油津の様子

- 凡例
- 公衆トイレ
 - 無料駐車場
 - 富岡交通バス停
 - 県道
 - 公園・広場
 - 神社・仏閣